編　集　後　記

第 54 回日本神経学会学術大会も盛会裡に終了しました．学術的に多くの新規知見に富んだ有意義な大会でありました．さて，今大会を契機として，2013（平成 25）年度より学会機関誌編集委員会が刷新され，このたび鈴木が新編集委員長を拝命いたしました．新編集委員会委員のメンバーは本ページ下段に示した方々で，多彩な神経疾患の広い領域を柔軟にカバーすべく，専門領域を配慮して人数を増やしました．編集委員会の初代委員長，椿　忠雄先生から数えて 10 代目の編集委員長である由，事務局からお聞きして，その伝統ある重要な役職に対して大きな責任を感じております．全力で臨床神経学の内容の充実とその存在意義を高めるべく努力していきたいと思います．

さて，日本神経学会は創立 50 周年を経て，日本医学会の中での立場の強化，国際神経学会の誘致をはじめとする国際化，そして学会運営の IT 化など，数多くの大きな変化と躍進を示しています．そのようなダイナミックな動きの中で，2012 年に日本神経学会からは臨床神経学の英文兄弟誌として，Neurology & Clinical Neuroscience が国際学術誌として創刊されました．臨床神経学にとっての今後の課題は，英文誌との棲み分けと日本語論文の独自性の確立にあると考えています．さらに，国際学術誌検索システムである“PubMed/MEDLINE”に，その存在を認証されている学会機関誌としての大きなメリットをさらに充実させることも重要です．本誌は投稿規定上，英文原稿を受け付けていますが，現状ではその絶対投稿数はまだ少なく，多くの掲載論文は和文でありその内容は英文抄録という限られた形でしか世界に発信できていないのが現状です．多くの優秀な和文論文の英文抄録の内容をさらに拡大・充実させ，現在以上に詳細に国際的に伝達できるようにする工夫も必要であると思います．

さて，臨床神経学は，2015 年 1 月（第 55 巻）より完全電子ジャーナル化されることが決定しており，論文内容はすべて一般公開する，すなわちオープンアクセスとするという方針が決まっています．これに対応すべく，新編集委員会としては，論文査読の迅速化かつ厳密化や倫理面に対する厳格なチェックと指導に力を注ぐ所存でおります．

本誌をより発展させるため，学会会員の皆様の叱咤激励とご支援をお願い申し上げます．

（鈴木則宏）

〈編　集　委　員〉

編集委員長　鈴木　則宏　　編集副委員長　河村　満

編集委員　星野　晴彦　　亀井　聡　　西野　一三　　瀧山　嘉久

野村　恭一　　池田　昭夫　　荒木　信夫　　飯塚　高浩

編集委員（幹事兼任）　森　秀生　　園生　雅弘　　高尾　昌樹

「臨 床 神 経 学」　第53巻　第 6 号　　平成25年 6 月 1 日発行

編　集　者　東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル　　一般社団法人日本神経学会

発　行　者　東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル　　水　澤　英　洋

印　刷　所　〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入　　中西印刷株式会社

発　行　所　〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号　一丸ビル

日 本 神 経 学 会

郵便振替口座　東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080　FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：http://www.neurology-jp.org/